



平成 30 年 6 月 29 日

各 位

会社名 コネクシオ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 井上 裕雄  
(コード番号 9422 東証第1部)  
問合せ先 執行役員  
経営企画部門長 神野 憲昭  
(TEL. 03-5331-3702)

## 当社の取締役会の実効性評価結果(概要)について

当社では、コーポレート・ガバナンスの継続的改善のためには、取締役会の実効性を高める取組みが重要であると考え、この取組みの一環として、原則年1回、かかる実効性評価を実施することとしております。この度、第21期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)における取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。なお、当社のコーポレートガバナンスにつきましては、当社ウェブサイトで公表しておりますので、ご参照ください。

・コーポレートガバナンス報告書 最終更新日：平成30年6月29日

[https://www.conexio.co.jp/ir/library/governance-report/2018/cg-report\\_180629.pdf](https://www.conexio.co.jp/ir/library/governance-report/2018/cg-report_180629.pdf)

記

### 1. 実効性の評価プロセス

取締役会の任意の諮問機関であり独立社外取締役が委員長を務めるガバナンス委員会が中心となり、取締役会の実効性評価を行い、取締役会においてその内容について検討・確認を行いました。

#### ✓ 評価方法

- 取締役・監査役による自己評価(アンケート)
- 回答結果を事務局で集計を行い、ガバナンス委員会に報告
- ガバナンス委員会で分析・評価を行った上で、今後の取組みを提言として取りまとめ
- 取締役会において、ガバナンス委員会からの報告及び提言に基づき、今後の取組みを決定

#### ✓ アンケート項目

- |                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 取締役会の構成                  | : 取締役会の構成や選任方法            |
| 2. 取締役会の運営の基盤               | : 取締役会の運営の前提となる考え方の共有状況   |
| 3. 取締役会の運営                  | : 取締役会の開催回数、議案数、時間、資料の過不足 |
| 4. 取締役会での意思決定プロセス           | : 意思決定プロセスの妥当性            |
| 5. 取締役・監査役への<br>トレーニング機会の付与 | : トレーニング機会の充足度            |
| 6. 事業所の視察                   | : 事業所などの視察の充足度            |

## 2. 実効性の評価結果

- ✓ 前述の評価プロセスにより、アンケート項目全般に亘り概ね適切であることを確認し、取締役会の実効性は確保できていると評価しました。
- ✓ 前年度に今後の取組みとした「社外役員への事前説明の充実」においては、社外取締役への事前説明の頻度を増やし、取締役会での議論の更なる充実が図れたことで、改善がなされていると評価しました。
- ✓ 一方で以下4点については、新たにもしくは継続して改善の余地があると評価しました。
  1. 中期経営計画のモニタリング
  2. 事前説明の充実
  3. 取締役会の構成（多様性の追求）
  4. 取締役・監査役へのトレーニング機会の付与

## 3. 今後の取組み

上記の評価の結果に基づき、ガバナンス委員会からの更なる取締役会の機能向上のための提言を受け、本年度取締役会は、以下の事項に取り組むことを決定いたしました。

1. 中期経営計画のモニタリング  
今年度からスタートした中期経営計画の進捗管理を定期的実施する。
2. 事前説明の充実  
事前説明の対象範囲を社外監査役まで拡大する。
3. 取締役会の構成（多様性の追求）  
女性役員をはじめとした多様性について引き続き検討する。
4. 取締役・監査役へのトレーニング内容の拡充  
取締役・監査役の個別のニーズに合わせたトレーニング内容を拡充する。

これらの取組みを通じて、当社は、取締役会の実効性の向上を図ってまいります。

以 上